

資料紹介

配電順位等級表

野 崎 哲 司

・資料発見の経緯

今回ご紹介する「配電順位等級表」は私が日出町教育委員会主催の致道館塾において平成26年3月に「人間魚雷回天及び大神基地」と題して発表させて頂いた際に、その調査過程で参考にした資料の1つで、大分県立公文書館所蔵資料の「電気省局往復書類綴（保安課昭和20年1月～昭和20年12月）」の中にあった資料である。

「配電順位等級表」は昭和20年1月頃に作成された（作成者は不明）ものと考えられるもので、当時の大分県警察部保安課が管理していた。

本資料には肝心の大神基地に関する記載は見当たらなかった。理由は作成された時期が大神基地開隊の昭和20年4月20日より前か、特攻訓練基地の秘匿目的が考えられる。

・軍部による電力の掌握と渇水期対策

太平洋戦争が徐々に敗色が濃厚になりつつあった、昭和18年10月8日、東條英機内閣は閣議決定で「軍需省設置要綱」を定めると、日本発送電の監督官庁であった運輸通信省電気庁は軍需省電気局として編入された（軍需大臣は東條英機内閣総理大臣が兼任）。

昭和18年12月31日には「戦闘機の飛躍的増産」及び「物的戦力増産」を主眼においた「電力動員緊急措置に関する件」を閣議決定し戦時体制の維持を図ろうとした。

昭和19年1月15日付けで軍需次官だった岸信介の名前で当時の大分県知事宛てに送られた「一九電第九三号（大分県管理番号・保電第二三号）「電力動員緊急措置に関する件」による閣議決定の要点は左記の通りであった。

1. 本年度末迄に水力発電所建設完遂のこと
2. 豊水電力及夜間電力の活用のこと
3. 電力合理化の実施のこと
4. 自家火力発電所の動員のこと

同時に民間への電力供給は鉄道、通信、家庭用電力といった必要最小限の供給に絞り、電力も事実上軍部が掌握する状態になった。

また渇水期における節電指導の徹底を政府から知事宛てに出している。昭和19年1月24日の「一九電第二二四号（大分県管理番号・保電第三一号）「渇水期に於ける電力消費節約の指導徹底に関する件」によると、戦力増強のために必要な最重要国防産業への電力需要は著しく増大しているが、冬期の最渇水期のため水力発電力は著しく減退している。火力発電所は石炭の入手が諸般の事情で極めて困難な状況にある。最重要産業には電力消費規正を断行するが、より一層の成果をあげるために国民による電力節減の協力が非常に重要であるとし、徹底的に電力節減を指導することを定めた。

昭和19年2月には小磯内閣が「決戦非常措置要綱」を発令、全ての物資を戦時体制維持のために軍需に徴用する方針を打ち出した。

・配電等級について

大分県内における配電等級がいつ定められたのか現段階で

は不明だが、九州配電大分支店が「参考」としてあげた資料がある。

昭和19年5月4日「臨時停電に関する件―九配大分支店より報告―」によると、水の減少による水力発電量が減少している時に、日発戸畑発電所（出力106,000kw）の汽缶6本中4本が故障してしまった。対策として九州全体として4万キロワットの制限が必要となり、大分県の制限割り当ては6kwであった。

対策実施方針としては左の通り

1. 電灯は点灯。
2. 電車は台数を減じ制限。
3. 大口需要家
- A…佐賀関精錬所50%の制限。
- B…富士紡績等・作業停止 但送電するも点灯のみ。
- C…一般動力・送電す。但し負担大なれば停止

参考・大分市としては

- 一級 航空隊・航空廠・水道・無電・無電・電信・電話
- 二級 市役所・陸軍兵舎・大分駅

三級 電車・陸軍病院

四級 警察署・刑務所・中島製作所・小駅

五級 富士紡・鐘紡衣料工場

六級 電灯・電力

七級 電灯・電力

ただし最重要一級配電より供給されている近くに七級があったとしても停電させないとなっていた。

第1表は「大分」地区の配電等級である。航空隊や航空廠があつた関係で、軍事最優先だつたのがわかる。第2表は「別府」及び「浜脇」地区の配電等級表である。大きな軍事施設がなかったこともあり、上水道や通信関係・サイレンに割り振られている。

今でも別府市公会堂に残されているサイレンへの配電順位が高かつたのは興味深い。

大分県内の発電所も当時は豊富な水系を利用した水力が主力だった。最渇水期における水力発電の発電力量が少なくなるのは死活問題だつたに違いない。

第3表は昭和18年1月から昭和20年12月までの降水量データだが、秋から冬にかけての降水量が少ないことがわかる。

昭和20年1月7日には九州軍需監理部から大分県知事宛てに軍需監理部指定の県内業者に対し、配電規正により昭和20年2月の配電電力は昭和20年1月実績消費電力の90パーセントにするという命令が出されている。

第4表は「配電順位等級表」を編集したものである。当時、大分県には大分市・宇佐市・佐伯市には海軍航空隊の基地があり、また第十二航空技廠が大分市内にあつた。これらの軍事関連施設に優先的に電力が送られていたことが、この資料からでもわかつた。

今後調査を継続していきたい。

参考資料・文献

『国家総動員史』 資料編 第3 石川準吉著 国家総動員史刊行会 1975. 12

『軍需省関係資料』 第8巻 軍需省関係政策資料 1997 pp.95-102

おおい文庫⑥『大分の電力史』 高橋真澄（株）アド

バンス大分 昭和56年9月25日

大分県公文書館所蔵資料

1995050540 電気局通牒関係（九）（軍需省告示及通牒・電力）より

一九電第九三号（保電第二三号）『電力動員緊急措置に関する件』昭和19年1月15日

一九電第二二四号（保電第三一号）『渇水期に於ける電力消費節約の指導徹底に関する件』昭和19年1月24日
『臨時停電に関する件―九配大分支店より報告―』昭和19年5月4日

1995060053 電気省局往復書類綴（保安課昭和20年1月～昭和20年12月）より

『配電順位等級表』

二〇九軍監業第八五七号（労電第二九号）「昭和19年8月1日軍需省告示第507号に依る電力消費規正に伴う電力配当の件 通牒」昭和20年1月7日

第1表 大分地区配電順位一覧表

供給順位	需要家	
	名 称	用途
1	第十二海軍航空廠大分工場、大分海軍航空隊、第十二海軍航空隊、無線通信局、電話局、市上水道、電信局、第十二海軍航空廠春日浦工場、海軍基地第、十二海軍航空廠	軍用、通信、揚水
2	航空標示灯、市役所、市防空本部、陸軍少飛行兵学校、陸軍病院、放送局、県防空本部、大分駅	軍用、サイレン、公共、交通
3	中島製作所、安部鉄工所、別大電鉄、県立病院、憲兵隊、大分連隊区	軍用、公共、交通
4	合同新聞、同盟通信、刑務所、警察署	通信、官公
5	鐘燃大分工場、津留灌漑用水、人毛揚水場、大分製紙、東洋産業、電灯電力	化学、揚水、製紙、製材、一般
6	滝尾変電所、電灯電力、電力	揚水、一般
7	電灯電力、電力	一般

1995060053 電気省局往復書類綴（保安課昭和20年1月～昭和20年12月）「配電順位等級表」より

第2表 別府・浜脇地区配電順位一覧表

別府地区配電順位一覧表

供給順位	需要家	
	名 称	用途
1	別府市上水道、別府郵便局通信	公共、通信
2	公会堂サイレン	公共
3	陸軍病院、傷疾軍人療養所、別府瓦斯、海軍病院	軍用、公共
4	九大病院、別府駅、防空警報灯、亀川駅、亀川サイレン、朝日サイレン、防空警報灯	公共、交通
5	食料営団、富士見製氷、別府製氷、山家製氷	食料
6	火葬場、電灯電力、電灯	公共、一般
7	電灯電力、電灯	一般

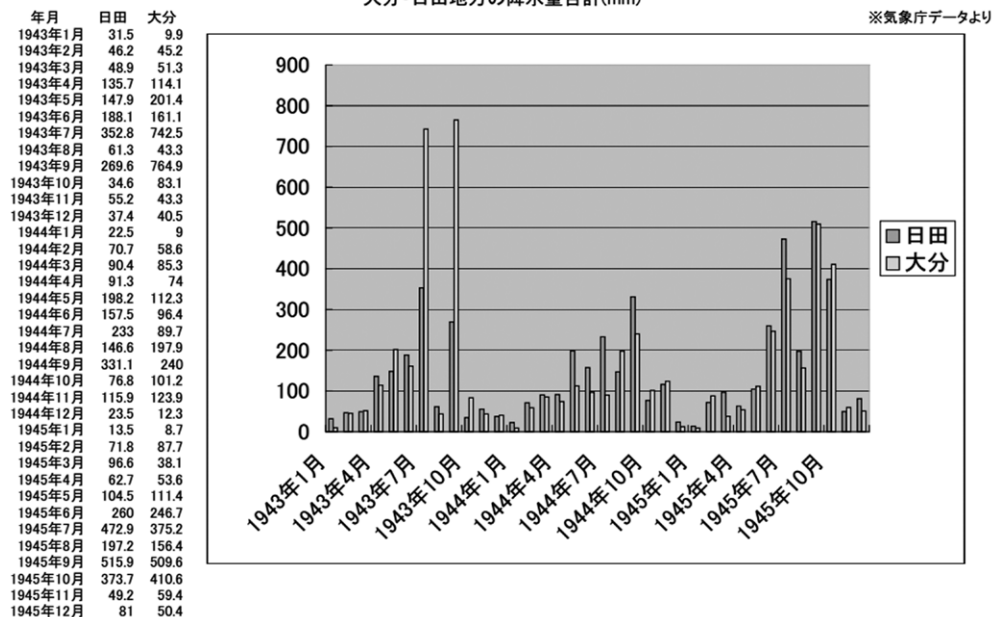
浜脇地区配電順位一覧表

供給順位	需要家	
	名 称	用途
1	別府電話局	通信
2	別府市役所、別大電鉄	公共、交通
3	—	—
4	別府警察署、別府憲兵分駐所、東別府駅、別府市役所	官公、軍用、交通、電灯
5	帝国水産統制会社、食料営団	食料、公共
6	電灯電力、電灯	一般
7	電灯電力、電灯	一般

1995060053 電気省局往復書類綴(保安課昭和20年1月～昭和20年12月)「配電順位等級表」より

第3表 大分・日田地方の降水量

大分・日田地方の降水量合計(mm)



発変電所名	需要家			契約電力	
	名 称	用 途	供給順位	昼 間	夜 間
日出	八幡鉾業	製鋼	5	600	600
日出	保土谷化学	化学	5	500	500
日出	海軍通信学校	軍用	2	35	44
日出	日出町サイレン	公共	2		
日出	日出警察署	官公	4		
日出	日出駅	交通	4		
日出	豊岡駅	交通	4		
日出	電灯電力	一般	7		
日出	陸軍兵器補給所	軍用	3	15	33
日出	電灯電力	一般	7		
須崎	津端電気利用組合	一般	7		
飯田	電灯電力	一般	7		
広瀬	電灯電力	一般	7		
広瀬	電灯電力	一般	7		
女子畑	鮮生産業溝部鉾業	採鉾	7		
女子畑	電灯電力	一般	7		
溝部	石原産業旭金山	採鉾	7		
黒瀬	電灯	一般	7		
小国	電灯電力	一般	7		
湯山	電灯電力	一般	7		
森	電灯電力	一般	6		
森	電灯電力	一般	7		
森	豊後森駅	交通	3		
森	電灯電力	一般	6		
森	電灯電力	一般	7		
町田第一	電灯	一般	7		
町田第二	電灯電力	一般	7		
日田	市役所	官公	2		
日田	警察署	官公	4		
日田	郵便局	官公	3		
日田	電灯電力	一般	6		
日田	電灯電力	一般	7		
日田	日田駅	交通	4		
日田	電灯電力	一般	6		
日田	電灯電力	一般	7		
日田	電灯電力	一般	6		
日田	電灯	一般	6		
日田	中央発条会社	航空機部品	3		
石井	電灯電力	一般	7		
滝ノ脇	日本産金仁田原鉾業	採鉾	7		
千々岩	星野製錬所				
竹田第一	竹田町水道	水道	2		
竹田第一	郵便局	通信	4		
竹田第一	警察署	官公	4		
竹田第一	病院	医療	5		
竹田第一	電灯電力	一般	6		
竹田第一	電灯電力	一般	7		
竹田第一	竹田駅	起重機	6		
竹田第一	竹田機関庫	給水	5		
竹田第一	警察署	給水	4	2	2
竹田第一	電灯電力	一般	5		
竹田第一	電灯電力	一般	6		
竹田第一	電灯電力	一般	7		
竹田第一	武田化成	化学	3	1000	1000
竹田第一	中津精機製作所	鉄工	4	79	79
竹田第一	大貞海運通信学校	軍用	2	35	35
竹田第一	電灯電力	一般	6		
竹田第一	電灯電力	一般	7		
竹田第一	電灯電力	一般	7		
竹田第一	神戸製鋼	製鋼	2	2000	2000
竹田第一	刑務所	電灯	4	1	1
別府	別府市上水道	公共	1		
別府	公会堂サイレン	公共	2		
別府	陸軍病院	軍用	3		
別府	傷疾軍人療養所	軍用	3	25	25
別府	九大病院	公共	4	55	12
別府	火葬場	公共	6		
別府	食料営団	食料	5		
別府	電灯電力	一般	6		
別府	電灯電力	一般	7		
別府	別府駅	交通	4		
別府	電灯電力	一般	6		
別府	電灯電力	一般	7		
別府	別府瓦斯	公共	3		
別府	富士見製氷	食料	5		
別府	別府製氷	食料	5		
別府	山家製氷	食料	5		
別府	別府郵便局通信	通信	1		
別府	防空警報灯	公共	4		
別府	電灯電力	一般	6		

第4表 配電順位等級表

発変電所名	需要家			契約電力	
	名 称	用 途	供給順位	昼 間	夜 間
大分	鐘燃大分工場	化学	5	2000	2000
大分	鐘燃大分工場	化学	5		
大分	第十二海軍航空廠	軍用	1	150	150
大分	大分海軍航空隊	軍用	1	170	170
大分	第十二海軍航空隊	軍用	1	80	80
大分	航空標示灯	軍用	2		
大分	無線通信局	通信	1	12.5	12.5
大分	滝尾変電所	揚水	6		
大分	津留瀬用水	揚水	5	56	56
大分	電灯電力	一般	6		
大分	電灯電力	一般	7		
大分	電話局	通信	1	20	20
大分	市役所	サイレン	2	10	10
大分	市防空本部	公共	2	10	10
大分	人毛揚水場	揚水	5	100	100
大分	大分製紙	製紙	5	150	150
大分	合同新聞	通信	4	59	59
大分	同盟通信	通信	4	1	1
大分	電灯電力	一般	7		
大分	市上水道	揚水	1	120	120
大分	刑務所	官公	4	15	15
大分	電灯電力	一般	6		
大分	電灯電力	一般	7		
大分	電信局	通信	1		
大分	警察署	官公	4		
大分	陸軍少飛行兵学校	軍用	2	50	50
大分	陸軍病院	軍用	2	18	18
大分	中島製作所	軍用	3	125	125
大分	電灯電力	一般	5		
大分	電灯電力	一般	6		
大分	電灯電力	一般	7		
大分	第十二海軍航空廠	軍用	1	95	95
大分	春日浦工場	公共	2	14	14
大分	放送局	公共	2	15	15
大分	県防空本部	公共	3	1	1
大分	中島製作所	公共	3	168	168
大分	安部鉄工所	軍用	3		
大分	電灯電力	一般	5		
大分	電灯電力	一般	6		
大分	電灯電力	一般	7		
大分	別大電鉄	交通	3	300	300
大分	電灯電力	一般	6		
大分	電灯電力	一般	7		
大分	海軍基地	軍用	1	150	150
大分	第十二海軍航空廠	軍用	1	80	80
大分	県立病院	公共	3		
大分	憲兵隊	軍用	3		
大分	大分連隊区	軍用	3		
大分	大分駅	交通	2	90	90
大分	東洋産業	製材	5	75	75
大分	電灯電力	一般	5		
大分	電灯電力	一般	6		
大分	電灯電力	一般	7		
大分	電灯	一般	6		
大分	電灯	一般	7		
浜脇	別府警察署	官公	4		
浜脇	別府憲兵分駐所	軍用	4		
浜脇	帝国水産統制会社	食料	5	55	55
浜脇	東別府駅	交通	4		
浜脇	電灯電力	一般	6		
浜脇	電灯電力	一般	7		
浜脇	別府電話局	通信	1		
浜脇	別府市役所	サイレン	2		
浜脇	別府市役所	電灯	4		
浜脇	食料営団	公共	5		
浜脇	電灯電力	一般	6		
浜脇	電灯電力	一般	7		
浜脇	電灯	一般	6		
浜脇	電灯	一般	7		
浜脇	別大電鉄	交通	2	400	400
滝尾	日本染料	化学	4	600	600
滝尾	第十二海軍航空廠	軍用	1	600	600
鶴崎	大同製鋼株式会社	製鋼	5	950	950
富士紡	富士紡	紡織	7	800	800
日出	九州電気工業	化学	5	1800	1800
日出	九州電気工業	化学	5		

発電電所名	需要家			契約電力	
	名 称	用 途	供給単位	昼 間	夜 間
津久見	貝島化学	採石	7	340	340
津久見	浅野セメント	採石	7	200	200
津久見	岩崎顕一郎	採石	7	250	250
津久見	電灯電力	一般	7		
津久見	津久見駅	交通	4		
津久見	旭工業	化学	5	75	75
津久見	電灯電力	一般	6		
津久見	電灯電力	一般	7		
津久見	電灯電力	一般	7		
佐伯	佐伯海軍航空隊	軍用	1	100	100
佐伯	佐伯防備隊	軍用	1	50	50
佐伯	佐伯軍需部	軍用	3	50	50
佐伯	佐伯施設部	軍用	3	400	400
佐伯	佐伯施設部	軍用	1	40	40
佐伯	市上水道	公共	1	75	75
佐伯	電灯電力	一般	7		
佐伯	保戸島海軍施設	軍用	1	6	6
佐伯	東九州造船会社	造船	5	100	100
佐伯	浅野セメント	採石	5	300	300
佐伯	海軍標識灯	軍用	1		0.2
佐伯	電灯電力	一般	6		
佐伯	南部合同造船	造船	3	50	50
佐伯	下堅田海軍施設	軍用	1	30	30
佐伯	大島海軍施設	軍用	1	6	6
佐伯	海軍標識灯	軍用	1	25	25
佐伯	鶴見崎陸軍施設	軍用	1	3	3
佐伯	鶴見崎陸軍施設	軍用	1	1	1
佐伯	女島海軍施設	軍用	1	15	15
佐伯	葛海軍施設	軍用	1	10	10
佐伯	無電分室	通信	1	4	4
佐伯	警察署	官公	4	1	1
佐伯	憲兵隊	軍用	3		
佐伯	佐伯製氷	食料	5	30	30
佐伯	佐伯駅	官公	3	8	8
佐伯	電灯電力	一般	6		
佐伯	電灯電力	一般	7		
佐伯	電灯電力	一般	6		
佐伯	電灯電力	一般	7		
佐伯	帝玉鉱業開発株式会社	鉱業	4	300	300
丸市尾	芦崎海軍施設	軍用	1	21	21
丸市尾	海軍標識灯	軍用	1		
丸市尾	電灯電力	一般	7		
丸市尾	電灯電力	一般	7		
丸市尾	電灯電力	一般	7		
丸市尾	電灯電力	一般	7		
丸市尾	電灯電力	一般	6		
篠原	電灯電力	一般	7		
今畑	電灯電力	一般	6		
柿原	電灯電力	一般	6		
柿原	電灯電力	一般	7		
鮎川	電灯電力	一般	7		
畑	電灯電力	一般	7		
笹川	電灯電力	一般	6		
笹川	電灯電力	一般	7		
今村	電灯	一般	7		
湯平第二	電灯	一般	7		
木浦	東洋鉱山	採鉱	5	60	60
木浦	岩戸鉱山	採鉱	6	100	100
木浦	電灯電力	一般	7		
左右知	電灯電力	一般	7		
上井田	電灯電力	一般	7		
茜川	電灯電力	一般	7		
上尾平	尾平三菱鉱業	採鉱	4	640	640
新沈鹽	三重警察署	官公	4		
新沈鹽	電灯電力	一般	7		
新沈鹽	電灯電力	一般	7		
新沈鹽	電灯電力	一般	7		
軸丸	電灯電力	一般	7		
軸丸	電灯電力	一般	7		
小富士	富士緒井路組合	事業	7	200	200
小富士	電灯	一般	7		

1995060053 電気省局往復書類保(保安課昭和20年1月～昭和20年12月)「配電順位等級表」より

発電電所名	需要家			契約電力	
	名 称	用 途	供給単位	昼 間	夜 間
別府	電灯電力	一般	7		
別府	電灯	一般	6		
別府	電灯	一般	7		
別府	亀川駅	交通	4		
別府	亀川サイレン	公共	4		
別府	朝日サイレン	公共	4		
別府	海軍病院	軍用	3	50	50
別府	防空警報灯	公共	4		
別府	電灯電力	一般	6		
別府	電灯電力	一般	7		
杵築	小倉陸軍兵器補給廠	軍用	4		
杵築	守江常給班	一般	6		
杵築	電灯電力	一般	7		
杵築	杵築駅	交通	5		
杵築	電灯電力	一般	6		
杵築	電灯電力	一般	7		
杵築	警察署	官公	5		
杵築	電灯電力	一般	6		
杵築	電灯電力	一般	7		
鶴川	西部7438部隊	軍用	1		
鶴川	電灯電力	一般	6		
鶴川	電灯電力	一般	7		
鶴川	警察署	官公	6		
鶴川	電灯電力	一般	6		
鶴川	電灯電力	一般	7		
鶴川	サイレン	公共	6		
鶴川	電灯電力	一般	7		
金堂	日本鉱業	採鉱	5	400	400
金堂	国徳鉱山	採鉱	5	95	95
金堂	立石駅	交通	5		
金堂	立石駅	一般	6		
金堂	中山香駅	交通	5		
金堂	電灯電力	一般	6		
金堂	電灯電力	一般	7		
柳ヶ浦	宇佐海軍通信学校	軍用	1	35	35
柳ヶ浦	海軍航空隊障害物表示灯	軍用	2		
柳ヶ浦	電灯電力	一般	6		
柳ヶ浦	電灯電力	一般	7		
柳ヶ浦	電灯	一般	7		
坂ノ市	東京第二陸軍造兵隊	軍用	1	400	400
坂ノ市	佐賀関上水道	公共	2	50	50
坂ノ市	豊予要塞司令部	軍用	3		
坂ノ市	幸陸軍用地	軍用	4		
坂ノ市	防空警報灯	公共	4		
坂ノ市	佐賀関鉄工機械業	機械	4	50	50
坂ノ市	電灯電力	一般	6		
坂ノ市	電灯電力	一般	7		
佐賀関	日本鉱業	金属	3	9500	9500
佐賀関	鶴崎警察署	公共	4		
佐賀関	鶴崎鉄工有限会社	機械	4	50	50
佐賀関	興喜化学鶴崎工場	化学	4	15	15
佐賀関	大分造船株式会社	造船	5	25	25
佐賀関	大分食料工業株式会社	食料	5	20	20
佐賀関	電灯電力	一般	5		
佐賀関	電灯電力	一般	6		
佐賀関	電灯電力	一般	7		
臼杵	臼杵鉄工所	造船	3	350	350
臼杵	臼杵上水道	公共	2	30	30
臼杵	熊本専売出張所	官公	5	110	110
臼杵	臼杵警察署	官公	4		
臼杵	東九州造船会社	造船	5	75	75
臼杵	日本蚕糸製造会社	製糸	5	40	40
臼杵	大塚鉄工所	内燃機械	4	51	51
臼杵	臼杵上臼杵駅	交通	4		
臼杵	電灯電力	一般	5		
臼杵	電灯電力	一般	6		
臼杵	電灯電力	一般	7		
臼杵	下ノ江海上信号灯	公共	2		
臼杵	東九州造船会社	造船	5	60	60
臼杵	日本蚕糸製造会社	揚水	5	10	10
臼杵	大塚鉄工所	内燃機械	4	13	13
臼杵	熊崎下ノ江駅	交通	5		
臼杵	電灯電力	一般	6		
臼杵	電灯電力	一般	7		
臼杵	臼杵臼杵駅	交通	4		
臼杵	電灯	一般	7		
津久見	小野田セメント工場	窯業	5	800	800
津久見	一般大口電力	窯業	7		